



おめでとうございます。長年にわたる功績は市民の誇りです。掲載の承諾をいただいている方をご紹介します。

瑞宝双光章



消防功勞
星田 正弘さん (70)

|| 豊野町 ||

経歴 農業に従事しながら昭和42年から消防団活動に尽力。豊野町消防団長を9年、初代宇城市消防団長を2年間務める。平成19年3月に退団。

「宇城市の初代消防団長になったとき、5町でバラバラだった年間行事や資金、服装を統一するため、それぞれの意見を聞いてまとめるのに苦労しました。ただ、合併後初めての出初式に約1,300人も団員が勢ぞろいした姿は壮観そのもの。その光景は今でも強く心に残っています。今回このような章を受章できたのは、家族の協力はもちろん、消防団員や地域のみなさんが支えてくれたおかげです。地域全体で助け合い、災害の少ない安全なまちづくりのために今後も協力したいと思います」

瑞宝小綬章



国土交通行政事務功勞
池田 伴雄さん (70)

|| 三角町 ||

経歴 昭和46年運輸省に入省し、運輸省鉄道局、近畿運輸局、国鉄清算事業本部などで勤務。平成16年、独立行政法人航海訓練所事務局長で退職。

運輸省に採用され鉄道、自動車、海運などの仕事に携わった他、大蔵省主計局で共済年金制度の改革、国際花と緑の博覧会で花の万博の観客輸送関係業務など他の役所の仕事も行った。平成16年航海訓練所事務局長を最後に退職、平成24年に三角に帰郷。「国鉄共済組合には長く関わり、共済年金制度の関係の法案の作成もたくさん行いました。また、阪神大震災の時には近畿運輸局の運輸部長として神戸発着のフェリーを大阪港で受け入れる為の調整などに従事したことも思い出します」

旭日双光章



地方自治功勞
末松 立身さん (82)

|| 松橋町 ||

経歴 平成7年松橋町町議会議員に初当選し、平成22年まで4期15年にわたり町・市議会議員を務める。平成18年から4年間は市議会議長も務めた。

議員在籍期間は、地域振興、農業振興、地方自治の向上、教育環境の整備など多岐に渡り尽力。また、長きにわたり民生委員として、地域の身近な相談相手として住民に寄り添い、支援を行った。「思いもよらぬ受章に大変驚きました。身に余る光栄で、言葉になりません。自分の信念に従い、地域のために妥協せず、真摯に議員としての仕事に務めてきました。15年にわたり、議員を務めることができたのは、地域の皆さんの支えがあったからこそと、感謝しています」

わかき保育園で「ストップ温暖化」ゴーヤーを植えてグリーンカーテンに

5/27 三角町のわかき保育園で、グリーンカーテン作りが行われ、園児や保護者など約30人が参加しました。熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ運動推進会議の「くまもとらしいエコライフ宣言」の一環で、宇城地域地球温暖化対策協議会(橋柿正興代表)が企画。園児たちがゴーヤーの苗をプランターに植えました。日陰ができ、エアコンなどの消費電力削減が期待されます。収穫後は給食などで園児たちも味わうとのこと。宮田朔太郎くん(6)は「ゴーヤーが大きくなるように、水やりをがんばります」と意気込んでいました。



真剣なまなざしでゴーヤーを植える

津奈木小学校から「被災地支援」のサラダタマネギ贈呈 おっきなタマネギ、食べておっきくなるぞ



サラダタマネギを前に喜ぶ当尾小の児童たち

5/29 津奈木町立津奈木小学校から松橋町内の学校6校に10*ダンボール35箱分のサラダタマネギが贈られ、当尾小学校で手渡されました。これは、津奈木小の児童が被災地支援として自ら育て収穫し、平成26年から宮城県、平成28年からは県内の被災地に贈呈しているもの。サラダタマネギは3日に分けて給食で提供されました。この日はチキンカレーに入れられ、笑顔でほおばる児童たちの姿が見られました。守田正大さん=6年=は「タマネギがたくさん入っていて、いつものカレーよりおいしかった」と話し、喜んでいました。

地域おこし協力隊 活動報告

LOCAL VITALIZATION COOPERATORS

地域おこし協力隊員 … 自治体の委嘱を受けて、地域ブランドや地場産品の開発・PRなど、地域おこしの支援や住民の生活支援といった地域協力活動を行う。

- 7月20日(土)に開催の「みすみ港まつり」ホームページを作りました。最新情報をお届けしています。
 - お茶会形式で事業者向けネット広告を学ぶ「ワンコイン Meeting」を開きました。ネット広告やチラシなどに興味がある人、お気軽にご相談ください。自分で簡単にできる方法をお伝えしています♪
- ☎ まちづくり観光課 ☎32-1906



地域おこし協力隊員
みずよ 宮川瑞代さん



「乗りタク」ポスター作成

永尾神社でこま犬の除幕式 愛着ある地域に恩返しを

5/30 「神秘の火 不知火」で知られる永尾神社(河野暁子宮司)で、奉納されたこま犬の除幕式が行われました。これは、地元出身で2年前に亡くなった山内實さんの遺族が、地域への恩返しをしたいという故人の意向をくみ奉納したものです。2体のこま犬は、台座を含め高さ約2mの御影石製で本殿の正面に設置されました。遺族から相談を受け、奉納の手伝いをした永尾1区の磯本秀利区長(71)は「平成はこの地区も高潮災害や地震で被害が発生した。元号も令和に改まり、新しいこま犬にあやかって平和に暮らせたなら」と話しました。



真新しいこま犬がお披露目されました